

みんな元気に「輝いて生きる」。それが私達の願いです。

スマホで見れる！

名張育成会のソーシャルメディアです

ホームページの
[SNSまとめページ]から
気になる記事をチェック！
このアイコンをクリックしてね！▶



それぞれの、 熱い思いに磨きをかける

2019年にベトナムから技能実習生(*)2人を迎え、2020年にはインターン留学生2名も受け入れるなど、信頼と実績を積んできたベトナムから新たに、外国人技能実習生(*)男女10人を迎えました。「日本の福祉を学んで母国の役に立つ！」そう決意した実習生の内、まず成美、成峯に配属された8名を紹介します。(*)裏面参照



ゴックさん 成峯
(ヴィンロン省出身)

看護師をしていましたが、介助を通じて困っている人の役に立ちたいと思い、介護技術の発達している日本にきました。

チームワークなど素晴らしいです



マイさん 成美
(バグザン省出身)

介護を目指しているので、技術が発達している日本で学びたいと思いました。将来はベトナムで人の役に立ちたいです。

利用者さんが愛おしいです



チャムさん 成峯
(カマウ省出身)

一般企業に勤めながら日本語の勉強をしていました。お年寄りが好きなので、専門職として高い技術を学び、介護に活かしたいです。

日本はキレイ。特に桜が大好き！

左:マイさん 成峯
(ヴィンロン省出身)

大学で英語を学んでいましたが、老人ホームのボランティアでお年寄りから感謝された時の喜びが忘れられず、介護の仕事に目覚めました。

日本語と漢字が大変です



右:フオンさん 成峯
(ドンナイ省出身)

9年間小学校で子供の世話をする助手をしていました。家族が病気になった際に世話をしてくれた方に憧れ、介護職を目指すことにしました。

雪だるまを初めて見ました



ニヤンさん 成峯
(ドンタップ省出身)

本国に奥さんと3歳の子供がいて、毎日電話しています。家族のためにも、世の中の役に立つ仕事に就きたいと、介護職を目指しています。

日本料理を家族に振舞いたい



ティンさん 成美
(ホーチミン市出身)

看護師として働いていましたが、アニメが好きで親しみがあり、介護技術の進んでいる日本の学びで、知識を高めたいと思っています。

色々な所へ行きたいけれど、
電車の乗り方が不安



アンさん 成美
(ドンタップ省出身)

アニメを見て、日本が素敵な国だと思っていました。人の世話をするのが好きなので、たくさんの人と関わりたいです。

毎日が楽しいです

名張育成会の活動、ひとつずつ！

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検 索

児童発達支援センター〈どれみ〉

ゆったりじっくり砂遊び♪



さわやかな風に暖かい日差し。外遊びやお散歩が楽しい季節になりました。そんな心地よい気候の中、どれみでは砂遊びをしています。

お子さんたちの発達に欠かせない、大切な要素がぎゅっとつまった砂遊び！この日は、ぽかぽかあたたかい砂の上に一人のお子さんが寝転ぶと、お友達も隣にごろり〜。職員が足元から砂をかけていくと、自分でもお腹に砂をかけ、ゆったり目をつむっていました。まるで、大分県で有名な砂風呂のようです！

砂ならではの程よい重さと、湿度に包まれて、動きを止めてじっくり自分の身体を感じる時間となりました。

施設入所支援〈成美〉



私の安心できる居場所

Sさんはひなたぼっこが大好きで穏やかな方ですが、体調が心配で職員も悩んでいました。「どうやって支援したらいいんだろう…」Sさんについて改めて振り返ったとき、職員が傍らにいる「居場所」が大切では、との意見が出て、日当たりの良い場所にソファを置き、そこで過ごしてもらうことにしました。

今回の支援を通して、利用者さん本人にとってどんなニーズがあるのかを職員同士で改めて考える機会を得られました。自分から言葉を発信して行うコミュニケーションが難しい方に対して「この方の好きなものはなんだろう」「どんな環境なら安心して過ごせるのかな」と考えながら、支援していくことが大切だと感じました。

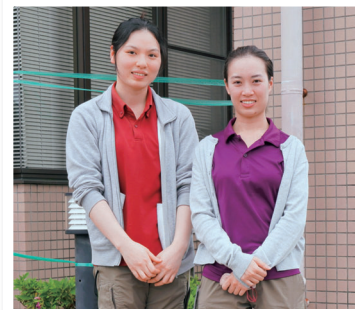
今月紹介した記事はすべて、「MiRAiレポートブログ」に詳しく掲載しています。ぜひご覧ください。

ブログはコチラ▶



〳 シンチャオ！〳

正職員になりました！



今回の実習生10人のセンパイとなるビックさん(左)とニユンさん(右)。2019年から外国人技能実習生(*)として研鑽を積み、2023年に特定技能(*)の資格を取得。2024年より正職員として活躍していて、今回、母国から10人もの実習生が着任したことを、とても喜んでいました。

実習生とは日本語で会話するが、難しい事はベトナム語で補足説明するというお二人。ビックさんは、「今回の実習生は覚えが早く、日本語も上手!」。ニユンさんは「職場の人は丁寧に教えてくれるので、どんどん吸収してほしい!」と、述べていました。

Cố lên!(コーレーン/がんばって!)

(表面より)

Xin chào! ベトナムを知ろう!

シンチャオ、こんにちは!

日本と友好な国家関係を築いているベトナム。正式名称は「ベトナム社会主義共和国」です。日本から5〜6時間ほどで渡航でき、各界の交流以外に世界遺産も多く、旅行先としても人気があります。

人口は約1億30万人と近年増加。経済的には、コロナ禍期間中も東南アジア諸国連合(アセアン諸国)で唯一プラス成長を維持し、収束後もコロナ禍から立ち直って高成長を達成するなど、勢いのある国です。(出典:外務省)

首都は北部にあるハノイ。経済の中心となっているのが南部にあるホーチミン市で、中部に位置するダナンは観光地としても有名です。

今回紹介した8人の出身は、北部1人、南部7人(●印)。尚、センパイのビックさんはハノイ、ニユンさんはタンホアの出身です。

(*)「技能実習」:技能の習得後、母国で活躍する人材の育成と国際貢献。

「特定技能」:特定の専門的スキルを有した人が日本で働く人材の確保。(出典:厚労省)